

リハビリ通信

第15号
令和3年1月4日
リハビリ通信担当発行

1. 季節の行事（クリスマス）

当院では患者さんに対して季節を感じることや意欲向上、作業を通した身体機能訓練などを目的として、季節の行事をリハビリの一環として行っています。



12月は訓練室内の装飾をクリスマス仕様にしました。機能訓練室の窓付近に大きなクリスマスツリーを設置し、飾りつけを一部患者さんにしていただきました。作業療法室には、患者さんやスタッフが厚紙・折り紙でサンタクロースやクリスマスツリー、リング飾りなどを作成し、窓や壁などに飾りつけをしました。

普段のリハビリテーション室の雰囲気よりはなやかとなり、装飾に気付いた患者さんが笑顔になる様子が多くみられました。ポジティブな感情を抱くことは意欲向上につながり、治療効果の向



上も期待できます。刺激の少ない入院生活の中で一瞬でも気分が晴れやかになるような瞬間を提供できるよう、日々工夫していきたいと思えます。

2. リハ科内研修

当科ではスタッフの研鑽を目的として、教育係を中心に勉強会などを定期的に行っています。

10月は新人スタッフの症例発表会を行いました。今年度は新人理学療法士1名が対象で発表を行いました。約1か月前から教育担当の先輩スタッフの指導を受けながら



準備を行い、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士含めた先輩スタッフたちの前で発表に臨みました。とても緊張しているようでしたが、自分の言葉で考えを伝えることができ、入職してから半年間の成長を感じました。先輩スタッフとの意見交換をする場面も多くみられ、科全体としてそれぞれの糧となる機会となりました。

11月は施設間情報提供書についての勉強会を行いました。当院は急性期病院のため、患者さんが回復期病院などへ転院することが多くあります。情報提供書は転院先



の担当者に向けて患者さんの治療経過などを伝達するために作成しますが、今回はどういう点に意識して作成するか、文章の作成について先輩スタッフが講義しました。相手に伝わりやすい文章を作るためのポイントを挙げており、特に若手のスタッフたちが真剣に聞いている様子が見られました。

12月は動作分析についての勉強会を行いました。2・3年目のスタッフが講師を務め、実際に身体を動かしながら動作のポイントについて講義してもらいました。講義を受けた側にとっては勉強になることが多くありましたが、講師をした側にとっても初めての経験となり、伝えることの大切さや難しさを実感したとのことでした。講義までの期間では同期や先輩からアドバイスをもらいながら準備している様子が見られ、受講者にしっかりと伝えられるよう一生懸命だった印象を受けました。この経験が今後の活動につながっていくことを期待したいです。

なお、科内で行った研修に関してはスタッフの体調を確認したうえで十分に感染対策を行った上で実施しました。



3. リハビリテーション室からの風景

10月



ハイビスカスとコスモス 寒くなっても11月ころまで咲きました。



左：夕暮れの高原山・羽黒山



右：霞から見えてきた男体山

11月



左：朝もやと筑波山



右：旧東病棟側の紅葉



左：病院西側の紅葉と女峰山



右：病院北側の紅葉

12月



左：筑波山・加波山



右：男体山と紅葉



左：雲を被った女峰山



右：霜が降りた屋上バルコニー



左：雪を被った高原山



右：雪を被った男体山・女峰山

今年の秋は寒暖差があり、病院敷地内の紅葉が鮮やかな色づきとなっていました。冷え込む日が多くなり、今年は厳しい寒さになることが予想されています。また、家にいる時間も多くなるため、運動不足に注意が必要です。筋トレや散歩などの運動が苦手な方もいますが、意外と掃除や洗濯といった家事動作は全身を使った良い運動となります。効率の良い作業のために頭も使うので、認知機能面にも効果があります。この機会に運動を意識して家事を行い、ケガや病気に負けない身体を作っていきましょう。